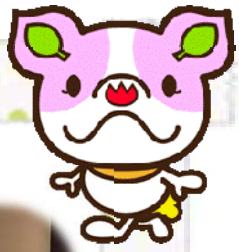

2月20日（水）みどりのレッスンを開催しました。

今回は、ガーデナーの井上華子先生から、「クレマチスの魅力！」を学びました。

クレマチス属の植物は、約300種もあるそうです。日本では「テッセン」と呼ぶこともありますが、テッセンはクレマチス属のうち大輪系園芸品種の総称で、クレマチス＝テッセンではないそうです。

初夏から秋にかけて咲くイメージが強いかもしれませんが、冬に咲くものや常緑のものもあるので、一年中クレマチスの花が咲くように、いろいろな品種を育ててみても楽しいと思います。

◆生育タイプごとの剪定方法

＜新枝咲＞

地際から3節残して切る（強剪定）。

ビチセラ系
ベティーコーニング

インテグリフォリア系
和名：ベルテッセン

木立性の品種です。

＜新旧枝咲＞

枯れた枝や細枝の整理、
または地際から5節で切る。

ラヌギノーサ系

原種系
（タングティカ）

＜旧枝咲＞

枯れた枝や細枝の整理のみ行う。

モンタナ系

パテンス系

他にも、板状のラティスなどを立てたり、フェンス、アーチ、オベリスクや落葉樹、コニファーに這わせてもいいそうです。

実習は、プリンセス・ダイアナ（新枝咲、テキシネンシス系）を、鉢のまま育てられるよう8号深鉢に植えました。庭植えにする場合は、1～2年は鉢で大きくしてから植え替えると確実に育つそうです。

こんな花が咲きます。冬の間は、地上部は何もありませんが、春には芽が出て、5月頃に花が咲き、秋まで楽しめるそうです。

植えた苗にも小さい芽が出ていました。

4～5時間は日が当たる場所で育てましょう。葉に日が当たればよいので、株元は日陰でも大丈夫です。水を好むため、乾かさないように気を付けましょう。肥料はあげなくても大丈夫ですが、冬に有機質肥料を土の上に少し置くと良いそうです。今回植え付けた鉢にもあれば置き肥をしてください。

クレマチスのつるは、アサガオのように自然に巻き付くものではありません。支柱を立てたり、ワイヤーやヒモなどを張って1週間から10日に一度くらい誘引してください。

支柱の立て方の見本を見せていただきました。
写真右：アサガオ用の支柱（75cm）
写真左：ラン用の細い支柱を5本挿し、上で束ねる。
間にヒモなどを張って誘引する。